

令和7年度 学校経営構想及びアクションプラン

〈学校教育目標〉

◎瞳輝いて 山中生

◎志燃えて 山中生

◎心通わせて 山中生

〈目指す学校像〉

生徒が明日も来たくなる学校

・怒の心と秩序があり、信頼に満ちた学校 ・夢と希望があり、学ぶ喜びに満ちた学校 ・心身の健康を保持し、活気に満ちた学校

〈学校経営の基本方針〉

◎生徒と協働で、創意工夫のある教育活動を展開し、明るく元気で、夢と感動のある学校を創る。

- (1) 生徒が互いのよさを認め、高め合う教育の実践
- (2) 生徒が主体的に学び、相互に伝え合い、広げる教育の実践
- (3) 生徒が自らの心身の健康と安全に対する意識を高める実践

〈目指す生徒像〉

◎笑顔と活気あふれる生徒

- (1) 思いやりの気持ちを言動に表し、友情を深め合う生徒
- (2) 自分の個性を理解し、主体的に課題に挑戦し続ける生徒
- (3) さわやかなマナーが身に付き、素直に感動できる生徒

〈重点施策〉

「怒の心と秩序があり、信頼に満ちた学校」にするために (徳)

「夢と希望があり、学ぶ喜びに満ちた学校」にするために (知)

「心身の健康を保持し、活気に満ちた学校」にするために (体)

一心豊かな人間性を育むー

- ①心に響く道徳教育を実現する。
- ②和顔愛語の精神をもとに支持的な風土づくり、凡事徹底による規範意識を育成する。「自分づくり」
- ③自分のよさを知り、自信をもって行動できるようにする。「仲間づくり」
- ④仲間の個性やよさに気づかせ、相互受入れの風土づくりを醸成する
- ⑤集団での帰属意識を育み、役割分担を確かめ、高め合う集団づくりを推進する。「集団づくり」

ー確かな学力を育むー

- ①個別最適な学びと協働的な学びを実現する。
- ②主体的・対話的で深い学びの土台となる学級づくりを目指す。MLA
- ③生徒指導の4機能を生かした授業づくりを実践する。(存・共・決・安)
- ④タブレットの活用による教材教具の工夫と授業の振り返りを実践する。
- ⑤学校図書館を積極的に活用する。(学習の拠点、居場所づくりの拠点)
- ⑥読み書き計算の基礎基本を育てる。

ー健康的で逞しい心身を育むー

- ①健全でたくましい心身の育成を実現する。
- ②健康に関する自己管理意識の高揚により、進んで健康的な生活を実践する態度を養う。
- ③感染症の現状の正確な把握と、感染防止のための実践力向上を図る。
- ④安全教育の徹底と環境整備の充実を図る。
- ⑤基本的な生活習慣の定着を図る。

○社会体験や感動体験を充実させる。自主奉仕活動による地域貢献を実感させる。

○美点凝視、互いの長所や特性を認め、他の人からも学ぶ雰囲気作りを進める。

○人権教育の理解推進 (いじめや暴力を許さない学級の醸成)

○学校・学年行事への主体的な参加を通じて達成感を感じさせる。

○一人の人間として大切にされているという自己存在感を実感させ、認められたという自己有用感を育む。

○共感的な人間関係を育成し、支持的で創造的な学級づくりを実現する。

○自己決定の場を提供し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行う。

○ICT教育の充実を図る。

○生徒による安心して学校生活が送れるような風土づくりを醸成する。

○文章読解力・書く力の向上を図る。

○体力向上の取組や感染症の予防を推進する。

○目的を明らかにした適切かつ効果的な部活動を実施する。

○事故や災害の未然防止や危険回避のための正しい知識と的確な判断力を養い防災意識を高める。

○食育に関する活動を推進する。

○スマホ使用に左右される生活習慣を脱却し、規則正しい生活リズムを定着させる。

〈具体の達成目標〉

○「時と場に応じた中学生らしい立ち居振る舞いができる」と回答する生徒の割合を85%以上にする。

○異学年交流活動への参加を通じて、思いやりの気持ちや学校への誇り、帰属感、連帯感を育む。80%

○登下校時の安全確保について自ら対策を考え、不安を解消できた生徒を80%以上にする。

○探究型学習を取り入れ、自ら設定した課題の解決にあきらめずに取り組む生徒の割合を70%以上にする。

★基本的学習習慣と基礎学力を向上させる。(ドリル・ICT・ノート・メモ力・要点の聞き取りおよび理解)